

21. 救急・集中治療

Emergency and Critical Care Medicine

【1】期 間 2019. 11. 6～2019. 11. 15

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎齊藤洋司（教授， 麻酔科学）

岩下義明（教授， 救急医学）

コース主任 二階哲朗（准教授， 集中治療部）

担当講座：麻酔科学， 集中治療部， 救急医学， 脳神経外科学， 整形外科， 小児科学， リハビリテーション

【3】一般目標 [G10 (General Instructive Objective)]

○救急医療を理解するために， 社会的なシステムと救急疾患の初期治療を学ぶ。

1. 救急医療システム（プレホスピタルケアを含む）を説明できる。
2. バイタルサインの重要性を説明でき， 異常を認める場合， 正常化させるプロセスを立案できる。
3. 生命に危険を及ぼす部位の代表的な病変を列挙し， その治療法を説明できる。
4. 各種ショックの分類を理解し， 診断と治療を立案できる。

○集学的患者管理を理解し， その基本的治療を学ぶ。

1. 集中治療の適応について説明できる。
2. 重症患者の呼吸循環管理について説明できる。
3. ARDS の定義を述べることができ， その診断・治療を記述できる。
4. 敗血症ショックの病態を理解し治療戦略を述べることができる。
5. 重症患者における臓器障害の診断・治療について説明できる。

【4】総合評価

その週の学習効果を筆記試験で評価する。総合評価には試験成績以外に， チューターによる評価も考慮する。

【5】参考図書（◎は購入推薦図書， 他は図書館にも備えてあります）

- ◎ 1. 内科救急診療指針 2016 日本内科学会編
- ◎ 2. 標準救急医学. 第 5 版 日本救急医学会監修 医学書院. 2014 年.
- ◎ 3. 集中治療専門医テキスト 第 3 版 日本集中治療医学会
4. 日本版敗血症診療ガイドライン 2016 日本集中治療医学会、日本救急医学会合同 日本版敗血症診療ガイドライン 2016 作成特別委員会
5. 新呼吸療法テキスト 3 学会（日本麻酔科学会 日本呼吸器学会 日本胸部外科学会）合同 呼吸療法認定士認定委員会－編集 2012
- ◎ 6. AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン日本語版 AHA, Inc. 2015
7. Trauma, David V Feliciano, Kenneth L Mattox, Ernest E. Moore. McGraw-Hill 6th ed. (2007 年)
8. ARDS 診療ガイドライン 2016 日本集中治療医学会、日本呼吸療法医学会、日本呼吸器学会 3 学会・2 委員会合同 総合医学社
9. 救急・集中治療最新ガイドライン 2018-19 岡元和文 総合医学社
10. JRC 蘇生ガイドライン 2015 日本蘇生協議会 医学書院
11. 日本版・集中治療室における成人重症患者に対する痛み・不穏・せん妄管理のための臨床ガイドライン 日本集中治療医学会 J-PAD ガイドライン作成委員会 2014

【6】局所解剖 なし